

## 13 真珠の振興に向けた支援の強化

(農林水産省、経済産業省)

【提言・提案項目】 **制度**・**予算**

- 1 真珠産業の健全な発展と国際競争力の強化に向けた国制度の充実および財政支援を強化すること。
  - (1) 生産者の経営安定、競争力強化を図るため、「競争力強化型機器等導入緊急対策事業」を継続するとともに、十分な予算を確保すること。
  - (2) 生産性・品質の向上に向け、産学官連携による研究開発を推進するとともに、国の財政支援を強化すること。
  - (3) 人材の育成・確保に向け、若者の就業促進のためのインターンシップに対する支援制度の創設や、長期研修制度の期間延長などの国制度を充実すること。
  - (4) 漁場の維持・改善に向け、継続的な汚泥の浚渫に必要な予算を確保するとともに、漁場環境等のモニタリングや迅速な情報提供に対する財政支援を強化すること。
- 2 真珠寶飾文化の振興および真珠の需要増進を図るため、国が中心となって、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会等における真珠の利用を促進するとともに、広く国内外へ真珠の魅力をPRすること。

《現状・課題等》

- 1 真珠養殖の発祥の地である本県には、真珠養殖業者、加工・流通・販売等に携わる多数の事業者が存在しており、真珠産業は重要な地場産業となっています。しかしながら、真珠養殖業では、赤変病等によるアコヤガイのへい死、従事者の高齢化や後継者不足など、生産基盤の脆弱化が進んでいます。また、真珠加工・流通業では、アコヤ真珠と競合関係にある外国産真珠との国際競争の激化等が課題となっています。

このような中、本県では、真珠産業の健全な発展や国際競争力の強化に向けて、本年4月に国の基本方針に即して策定した「三重県真珠振興計画」に基づき、生産者の経営安定をはじめ、生産性・品質の向上、人材の育成・確保、漁場の維持・改善等を推進することとしています。これらを計画的かつ効率的に実施するためには、競争力の強化を図る機器整備や、産学官連携による優良な真珠母貝の安定生産に資する研究開発、漁業インターンシップや真珠に特化した漁師塾の立ち上げによる後継者の育成、漁場環境を改善する浚渫の継続実施など、本計画に掲げる施策の推進に必要な制度の充実や財政支援の強化が不可欠です。

- 2 伊勢志摩サミットでは、三重県特産の<sup>ひんだま</sup>厘珠を用いたラベルピンが各国首脳へ贈呈され、高く評価されるなど、真珠は日本を象徴する宝飾品として注目を集めています。また真珠は、中国、ASEAN 諸国などアジアの富裕層を中心に年々需要が拡大しています。

こうした好機を適確に捉え、オールジャパン体制で真珠の魅力や真珠寶飾文化に関する情報を広く発信することが重要であり、国が中心となって、2020 年に開催される東京オリンピック・パラリンピック競技大会における真珠の利用を促進するとともに、日本産真珠の優れたブランド価値を世界に向けてPRする必要があります。

事務担当 農林水産部水産資源・経営課、雇用経済部三重県営業本部担当課  
関係法令等 真珠の振興に関する法律

# 13 真珠の振興に向けた支援の強化

(農林水産省、経済産業省)

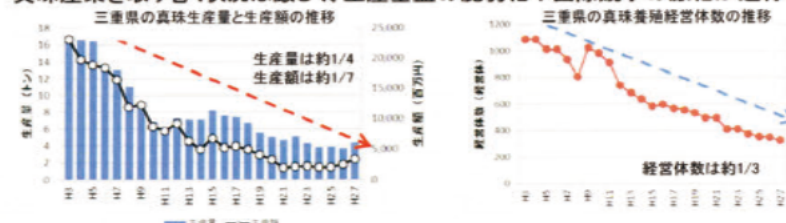
## 現状 三重県は真珠養殖発祥の地であり、真珠産業は本県における重要な地場産業

本県で誕生した独創的技術、120年以上続く一大産地  
平成29年3月 日本農業遺産に認定  
「鳥羽・志摩の海女漁業と真珠養殖業」

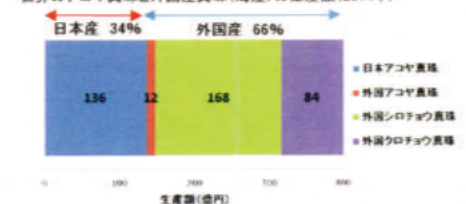


真珠養殖の父 御木本幸吉  
世界に広がった 核入れ技術の確立  
日本農業遺産に認定

真珠産業を取り巻く状況は厳しく、生産基盤の脆弱化や国際競争の激化が進行



世界のアコヤ真珠と外国産真珠(海産)の生産額(2014年)



## 課題① 真珠産業の健全な発展と国際競争力の強化に向け、国制度の充実や財政支援の強化が必要

平成28年6月「真珠の振興に関する法律」制定  
平成30年4月「三重県真珠振興計画」策定

生産者の経営安定 生産性・品質の向上  
人材の育成・確保 漁場の維持・改善  
などの施策を推進

海産真珠  
で全国初

真珠の生産目標を設定

現状値(2014年)	目標値(2027年)
生産額: 25億円	生産額: 37億円
(参考)国の生産目標 生産額: 136億円 (2014年) → 生産額: 200億円 (2027年)	

施策	生産者の経営安定	生産性・品質の向上	人材の育成・確保	漁場の維持・改善
果取組	・計画に基づく省力化や省コスト化のための機器整備に向け、国事業の活用に必要な広域浜プランの作成等を支援	・高品質な真珠生産に必要な国産優良貝の作出・養殖技術を開発 ・県水産振興事業団における優良貝の系統保存を実施	・全国に先駆け、学生等を対象とした漁業インターンシップを実施 ・真珠養殖に特化した漁師塾の立ち上げを協議中	・浚渫の実施による漁場環境の改善を実施 ・有害赤潮等による被害防止のため、漁場環境モニタリングを実施
今後の課題	・競争力の強化を図るため、機器整備に必要な「競争力強化型機器等導入緊急対策事業」の継続と十分な予算の確保	・国産優良貝の普及に向けた実証試験の実施 ・優良貝の安定生産のための系統保存体制の継続 に対する産学官連携による研究開発の推進と国財政支援の強化	・若者の就業促進のため、インターンシップに対する支援制度の創設 ・真珠養殖においては技術取得に期間を要するため、長期研修制度の延長(3年→5年)などの国制度の充実	・着実な漁場環境の改善のため、浚渫の継続的な実施に必要な予算の確保 ・漁場環境等のモニタリングと迅速な情報提供に対する国財政支援の強化

## 課題② 真珠宝飾文化の振興や需要増進に向け、東京オリ・パラ等での真珠の利用促進、国内外への真珠の魅力のPRが必要

三重県真珠振興協議会 (平成27年7月設立)

- ・真珠の生産・加工・流通・販売に携わる多様な事業者により構成
- ・三重県産真珠のPRや真珠の魅力発信等を実施

都道府県では全国で唯一の協議会

・平成28年5月 伊勢志摩サミット 各国首脳へ三重県特産の厘珠を用いたラベルピンを贈呈

日本を象徴する宝飾品として、国内外から高評価

・国内外から真珠見学ツアーを受け入れ、真珠のPRを実施 (H28~29年受け入れ実績: 85名、うち海外 中国等4ヶ国40名)

世界の真珠需要額(推計値)

約400億円 (現状)

約160億円 (2027年の新規需要増)

中国、ASEAN諸国など、アジアの富裕層を中心に年々需要が拡大

好機を的確に捉え、オールジャパン体制で真珠の魅力や真珠宝飾文化に関する情報を広く発信することが重要

真珠振興議員連盟による申入れ活動

・国が中心となり、東京オリンピック・パラリンピック競技大会等における真珠の利用を促進

・真珠振興協議会等の民間団体が実施する国内外への真珠のPR活動に対する支援の充実

- 提言
- 真珠産業の健全な発展と国際競争力の強化に向けた国制度の充実および財政支援を強化すること。
    - (1) 生産者の経営安定、競争力強化を図るため、「競争力強化型機器等導入緊急対策事業」を継続するとともに、十分な予算を確保すること
    - (2) 生産性・品質の向上に向け、産学官連携による研究開発を推進するとともに、国の財政支援を強化すること。
    - (3) 人材の育成・確保に向け、若者の就業促進のためのインターンシップに対する支援制度の創設や、長期研修制度の期間延長などの国制度を充実すること。
    - (4) 漁場の維持・改善に向け、継続的な汚泥の浚渫に必要な予算を確保するとともに、漁場環境等のモニタリングや迅速な情報提供に対する財政支援を強化すること。
  - 真珠宝飾文化の振興および真珠の需要増進を図るため、国が中心となって、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等における真珠の利用を促進するとともに、広く国内外へ真珠の魅力をPRすること。

【農林水産部】